



VIRTUAL SERVER ADMIN TOOL  
VSAT  
ご利用マニュアル

初版 : Ver 1.0 2005年10月1日

## 1 はじめに

サーバーはWEB画面より簡単な操作でサーバーを管理することが可能なツールとなっています。サーバーXサーバーの管理に不慣れな管理者の方が簡単な操作で日常の管理を行うためのツールとなっております。そのため新しいプログラムのインストールや管理ツール上で操作できないすべての事項についてはコンソールより作業を行う必要があります。

## 2 VSAT の特徴

VSAT は基本的な操作、登録、変更などの日常的作業を行うことが可能です。日常の操作に必要な項目を各メニューより簡単な操作で行えますので専門知識を持たない管理者の方でも安心してご利用いただけます。マルチドメイン管理を行うことが可能です。ドメイン毎に細かな設定を行うことが可能です。各ドメインには最大10個のサブドメインを設定することが可能で、それぞれのサブドメイン毎にユーザーを登録することが可能です。サブドメインの作成個数はシステム管理者メニューにて設定可能です。サーバー内の全ドメインに共通設定となります。) MySQLをドメイン(サブドメインを含む)毎に管理することが可能です。DBの利用可否は初期設定メニューにて設定することが可能です。

次ページより「システム管理者メニュー」「ドメイン管理者メニュー」「一般ユーザーメニュー」をご説明いたします。

## MENU

1	ログイン方法	4
2	システム管理者メニュー	
2.1	管理ツール初期設定	5
2.1.1	管理ツール初期設定「基本設定」	5
2.1.2	管理ツール初期設定「初期設定」	7
2.1.3	管理ツール初期設定「DNS 設定」	8
2.1.4	管理ツール初期設定「WEB 設定」	8
2.1.5	管理ツール初期設定「MAIL 設定」	9
2.1.6	管理ツール初期設定「OPTION 設定」	9
2.1.7	管理ツール初期設定「ライセンス管理」	9
2.2	ウェブ設定	10
2.3	セキュアウェブ設定	12
2.4	データベース設定	15
2.5	メール設定	16
2.6	DNS 設定	17
2.7	バーチャル設定	18
2.8	ネットワーク設定	20
2.9	ユーザー設定	22
2.10	オプション設定	23
2.11	ディスク使用量表示	23
2.12	サービス稼働状況表示	24
2.13	設定の保存	24
2.14	ログアウト	24
3	ドメイン管理者メニュー	
3.1	ウェブ設定	25
3.2	セキュアウェブ設定	27
3.3	データベース設定	29
3.4	メール設定	30
3.5	DNS 設定	31
3.6	バーチャル設定	32
3.7	ユーザー設定	33
3.8	オプション設定	34
3.9	ディスク使用量表示	34
3.10	サービス稼働状況表示	34
3.11	設定の保存	34
3.12	ログアウト	34
4	一般ユーザーメニュー	
4.1	メール設定	35
4.2	設定の保存	35
4.3	ログアウト	35

## 1. ログイン方法

1. <https://main.domeinname:19998/> にアクセスします。(アクセス先アドレスは会員証をご覧ください)
2. ログインするユーザーIDを入力します。
3. 同じくパスワードを入力します。
4. ログインボタンをクリックします。

ログイン ID に応じた管理画面が表示されます。

システム管理者用 ID、パスワードなどの情報は会員証に記載してありますのでご参照ください。  
大文字小文字を認識しますので入力の際にはご注意ください。



システム管理者メニュー



ドメイン管理者メニュー



一般ユーザーメニュー

### 3. ドメイン管理者メニュー

ドメイン管理者 ID にてログインすると以下のメニュー画面が表示されます。



ドメイン管理者メニューは特権ユーザーとして動作しますので誤った設定を行うと重大な障害を発生する原因にもなりますのでご注意ください。

それぞれの項目について説明をいたします。

#### 3.1 ウェブ設定

サーバー内ドメイン利用 WEB の設定管理を行います。

ドメインリストを選択し、CGI・SSI・ユーザー制限などの動作設定をドメイン毎に設定することができます。



**メインサーバ情報**  
ドメインを示します。

#### IP アドレス

固定 IP が付与されている場合には IP アドレスが表示されます。

IPアドレスを共有している場合には「サーバー基本IP」と表示されます。

#### ID

そのドメインの管理者 ID を表示します。

#### Password

そのドメインの管理者パスワードを表示します。

設定を行う場合にはドメイン名をクリックします。

<http://main.domeinname:80/> WEB 詳細設定

ディレクトリごとの動作制限を設定します。ディレクトリごとに CGI、SSI の使用状況を設定できます。なお、ホームディレクトリ直下の「cgi-bin」ディレクトリ以下は CGI 用のディレクトリですので、CGI をオフにすることはできません。また SSI に関しては、exec は実行できませんのでご注意ください。



に設定するフォルダ名を記入します。プルダウンメニューより動作を選択して登録を実行します。

登録された内容は設定フィールドの下段に追記されて確認することが出来ます。追加されたフィールド内で「有効」「無効」「削除」をクリックすることで設定変更することが可能です。

ディレクトリごとの認証設定を行います。対象のパスを指定し、登録ボタンを押した後「編集」リンクからユーザーを登録してください。

に設定するフォルダ名を記入します。プルダウンメニューより動作を選択して登録を実行します。パスワードは自動的に暗号化されます。

に設定するフォルダ名は作成済みフォルダを必ず指定してください。



**DirectoryIndex**  
DirectoryIndex は、URL でファイル名を指定しない場合にデフォルト表示させるファイル名を指定します。1つずつ改行して入力してください。上にあるほど優先度が高くなります。

**UserDir**  
ユーザーにホームページを公開させる場合は、UserDir を有効にします。公開させない場合は、無効に設定してください。初期値は無効です。

`http:// virtual.domeinname /-USERNAME/`

## 3.2 セキュアウェブ設定

サーバー内ドメイン利用セキュア WEB の設定管理を行います。  
ドメインリストを選択し、CGI・SSI・ユーザー制限などの動作設定をドメイン毎に設定することができます。



**メインサーバ情報**  
ドメインを示します。

**IP アドレス**  
固定 IP が付与されている場合には IP アドレスが表示されます。  
IP アドレスを共有している場合には「サーバー基本 IP」と表示されます。

**ID**  
そのドメインの管理者 ID を表示します。

**Password**  
そのドメインの管理者パスワードを表示します。

設定を行う場合にはドメイン名をクリックします。

### <http://main.domeinname: 443/> セキュア WEB 詳細設定

ディレクトリごとの動作制限を設定します。ディレクトリごとに CGI、SSI の使用状況を設定できます。  
なお、ホームディレクトリ直下の「cgi-bin」ディレクトリ以下は CGI 用のディレクトリですので、CGI をオフにすることはできません。また SSI に関しては、exec は実行できませんのでご注意ください。



に設定するフォルダ名を記入します。  
プルダウンメニューより動作を選択して登録を実行します。

登録された内容は設定フィールドの下段に追記されて確認することが出来ます。  
追加されたフィールド内で「有効」「無効」「削除」をクリックすることで設定変更することが可能です。

ディレクトリごとの認証設定を行います。  
対象のパスを指定し、登録ボタンを押した後「編集」リンクからユーザーを登録してください。

に設定するフォルダ名を記入します。  
プルダウンメニューより動作を選択して登録を実行します。パスワードは自動的に暗号化されます。

に設定するフォルダ名は作成済みフォルダを必ず指定してください。



**DirectoryIndex**

DirectoryIndex は、URL でファイル名を指定しない場合にデフォルト表示させるファイル名を指定します。1つずつ改行して入力してください。上にあるほど優先度が高くなります。

**UserDir**

ユーザーにホームページを公開させる場合は、UserDir を有効にします。公開させない場合は、無効に設定してください。初期値は**無効**です。

http:// virtual.domeinname /~USERNAME/

**証明書の管理**

サイト証明書の発行を行います。

**IP アドレスを付与されていないドメインでは証明書の発行は行えません。サブドメインでの証明書発行は行えません。**

Web サーバを SSL 化するための秘密鍵 / 公開鍵のペア、証明書要求(CSR)の作成を行い、ローカル証明書の発行を行います。現在のキーペア、証明書は上書きされますのでご注意ください。



サイトの基本情報を正しく入力します。

- 国名 (Country Name)
- 都道府県名 (Province Name)
- 市町村名 (Locality Name)
- 組織名 (Organization Name)
- 部署名 (Unit Name)
- サーバー名 (Common Name)

キーペア・CSR・現在の証明書のダウンロードを行います。新規に証明書を作成、アップロードするときは、必ずバックアップを取ってから行ってください。

認証局証明書のアップロードを行います。以下のテキストボックスに、証明書の中身を貼り付けて「アップロード」ボタンを押すことでアップロードすることができます。元の証明書は上書きされますのでご注意ください。

### 3.3 データベース設定

MySQL データベースの設定管理を行います。



**メインサーバ情報**  
ドメインを示します。

**IP アドレス**  
固定 IP が付与されている場合には IP アドレスが表示されます。  
IPアドレスを共有している場合には「サーバー基本IP」と表示されます。

**ID**  
そのドメインの管理者 ID を表示します。

**Password**  
そのドメインの管理者パスワードを表示します。

設定を行う場合にはドメイン名をクリックします。



データベース名フィールドに任意の名称を付け登録します。  
作成されたデータベースは下段に一覧表示されます。

**データベース管理**

をクリックし DB 管理ツールにアクセスします。

phpMyAdmin が起動しますのでバーチャルドメインのユーザー名・パスワードを指定してください。



### 3.4 メール設定

このメールサーバーで受け付けるドメインの設定を行います。



**メインサーバ情報**  
ドメインを示します。

**IP アドレス**  
固定 IP が付与されている場合には IP アドレスが表示されます。  
IPアドレスを共有している場合には「サーバー基本IP」と表示されます。

**ID**  
そのドメインの管理者 ID を表示します。

**Password**  
そのドメインの管理者パスワードを表示します。

設定を行う場合にはドメイン名をクリックします。



メールアドレスのエイリアス(別名)設定を行います。

エイリアス名を記入し受取アドレスを指定します。  
**メールアドレスは必ず実在するアドレスを設定してください。**

作成されたエイリアスは一覧表示されます。  
修正・削除を行うことが可能です。

### 3.5 DNS 設定

DNS のゾーン情報の変更を行います。

サブドメインを作成した場合、プライマリドメイン ZONE ファイルに反映されませんので設定を追加する必要があります。(次バージョンにて自動作成対応予定)



テキスト修正フィールド内を編集します。

#### 注意

登録時、Serial 値の値を必ず増やしてください。  
MX レコードに指定するホスト名は、必ず A レコード  
で指定してください。(CNAME は使わないでください)

### 3.6 バーチャル設定

バーチャルドメインの登録、管理、削除を行います。

ドメインを削除すると、所属しているユーザーやメールアドレスはすべて削除されます。  
プライマリドメインを削除する場合は、サブドメインを完全に削除してから行ってください。



ドメインの一覧が表示されます。

#### 修正

バーチャルドメインの登録情報を修正します。

#### 削除

バーチャルドメインの登録情報を削除します。

修正を選択します。



変更可能な事項はテキストフィールドになっています。

サブドメインを作成可能なドメインの場合、画面下段にサブドメイン作成フィールドが表示されます。

サブドメイン名(例 : www2 )を入力します。  
管理名称を入力します(任意)  
サブドメイン管理者パスワードを入力し登録します。

プライマリドメインの最大ユーザー数およびディスク使用量にサブドメインの利用量も含まれます。

#### 例

プライマリユーザー 10人  
サブドメインユーザー 5人  
合計 15人の利用 となります。

### 3.7 ユーザー設定



ユーザーの追加・修正・削除を行います。  
 背景が色つきのものは管理者用ユーザですので、削除はできません。  
 あと xxx 人追加可能です。  
 (バーチャルドメイン作成時に設定した最大登録ユーザー数までの人数が表示されます。)

**ユーザーを新規作成する**

をクリックしユーザーを作成します。



ユーザー名、パスワードは、半角英数字とアンダバー「\_」、ハイフン「-」、ドット「.」が利用できます。

上段は個別登録を行います。 各項目を入力し登録します。  
 下段はユーザーの一括登録を行います。  
 一括登録するユーザーを手入力、あるいはコピー & ペーストで指定します。  
 テキストの書き方が間違っていたり、すでに存在するユーザーを追加しようとしたときにはエラーになり、ユーザー追加は行われません。エラー箇所を修正し、はじめからやり直してください。

「ユーザー名:パスワード:お名前」の形式で1行ずつ入力してください。パスワードは Clear Text で入力してください。確定時に自動変換されます。ユーザー名の後ろには、ドメイン ID が自動的に付加されます。

**修正**を選択し、ユーザー情報の修正を行います。  
 パスワードは、半角英数字とアンダバー「\_」、ハイフン「-」、ドット「.」が利用できます。



パスワード、正式な名前の変更が可能です。  
 下段ではメール転送設定および自動返信が行えます。  
 メール転送を行う場合は「メール転送先」フィールドに転送先メールアドレスを1件1行で登録します。

自動返信では自動返信時の件名とメッセージ本文の登録が行えます。

### 3.8 オプション設定

管理ツールでは提供していないサービスを申し込むことができます。  
申し込まれた内容はシステム管理者宛メールアドレスに送信されます。


### 3.9 ディスク使用量表示



ディスク使用容量を表示します。  
WEB やメールなどの合計量を表示します。

**使用量 (現在使用容量/設定容量)**

37 / 100 MB (37.00 %) のようにドメインで利用する容量設定と現在使用量を表示します。

実使用容量が超過している場合、背景は  で表示されます。

超過した場合でも FTP やメール受信は可能です。

### 3.10 設定の保存



ほとんどの操作を行った場合、設定確定を行うと左メニュー上に **設定を確定する** が表示されます。 **確定した内容をサーバーに反映させるには必ずクリックしてください。** この反映作業はすべての登録変更時に表示されます。

反映操作が完了すると右側画面内に

設定内容をサーバーに反映しました。

と表示されたことを確認してください。

### 3.11 ログアウト

作業完了後は必ず **LOG OUT** してください。



**管理者メニューはシステム上重要な設定事項です。誤設定を行わないよう内容を理解した上で操作してください。**